

世界災害語り継ぎネットワーク

# TeLL-Net

International Disaster Transfer Live Lessons Network

災害を経験した多くの人が、  
自身の体験と教訓を、広く、世代を超えて語り継ぐ



## 使命

TeLL-Netは、「災害語り継ぎ」活動のプラス効果を相乗的に高め、以下の成果に貢献することを目的とする。

- 災害リスク軽減に対する世界の人々の意識を高め、意欲を喚起するために、メンバー間の協力を促進して実際の被災体験や災害教訓を共有するとともに、かかる体験や教訓を効果的に伝え継承するための手法および手順について相互に学び合う。
- 「災害語り継ぎ」の意義とその効果が認識されるように、国際世論を幅広く喚起する。
- 同じく「災害語り継ぎ」を目的とした新たな取り組みを支持するとともに、そのメンバーを支援する。

## 活動内容

TeLL-Netの活動は情報の共有と発信を基本とする。その内容は以下の通り。

- 実際の被災体験と災害知識を収集し、まとめる。
- ウェブサイト、公報、映像、出版物などを通して様々な情報と知識の発信をはかる。
- 相互学習と話し合いを目的とした会合を定期的に開く。
- 可能であれば国際会議に参加して、「災害語り継ぎ」の重要性を国際社会に訴える。
- それが可能であれば、被災地に国際チームを派遣して実際の被災体験と災害教訓を収集するとともに、「災害語り継ぎ」の意義と効果を伝え、そのための方法をアドバイスする。

## メンバーシップ

<メンバー>

人種、性別、国籍に関係なく、以下に該当する者はTeLL-Netに参加することができる。

- 博物館等で過去の災害をテーマとした展示を行う者で、被災経験のない者（特に若い世代）に対し、被災者の視点から過去の災害の実体験と教訓を伝え継承することの大切さを認識する者。
- 博物館等での展示以外の様々な教育的手段—映像、絵本、音楽、地域の催しなど—を用いて、同様の活動を実践する者、または実践する意志のある者。

<サポーター>

- 直接「災害語り継ぎ」活動にかかわってなくても、TeLL-Netの精神に共感し、かつその活動を様々な形で支援する意志のある者。

### TeLL-Net 設立総会

2006年1月20日（神戸市）

神戸市で開催されたTeLL-Net設立総会には、世界各地の被災地の代表者等、約100名が参加した。

広瀬弘忠氏（東京女子大学教授）は「災害に出合うとき」と題した基調講演を行い、体験を語り継ぐことの大切さを強調した。講演の中で広瀬氏は、「自身の災害の経験を周囲の人に語るにより、被災者は気持ちを整理し自分自身を取り戻していく。それと同時に彼らの肉声による語りは、聞く人々の心を動かし、防災の重要性を認識させ、来るべき災害に対し具体的な行動を起こさせる原動力となる。」と語った。



# 世界災害語り継ぎネットワーク (TeLL-Net) 設立宣言

我々、災害語り継ぎネットワーク発起人会のメンバー、及び世界の被災地の代表者は、昨日及び本日の2日間にわたり神戸に集い、世界災害語り継ぎネットワークの設立について論議を交わした。

過去に災害を経験した多くの人が、自身の体験と教訓を、広く、世代を超えて語り継ぐ必要性を認識しており、それら被災者の体験談は、被災経験のない人の心をも揺さぶり、将来の災害に備え具体的な行動を起こす必要性を喚起する。

しかしながら、災害の爪痕や教訓は往々にして被災者や社会からすぐに忘れ去られるため、こうした災害の語り継ぎを継続するには多大な努力が必要である。個々の被災者による災害語り継ぎの効果は非常に限られたものである一方で、その教訓を学ぶべき人は全世界に存在する。

したがって世界各国で多様な形態により「災害語り継ぎ」活動を行う個人や団体が、共通の目的に向かい団結し、互いに奨励し、支援しあい、全世界に向けて声をあげることで「災害語り継ぎ」の効果を高める必要がある。

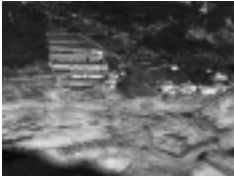
設立総会の閉会にあたり、我々は上記の認識に基づき、ここに宣言する。

1. 災害の語り継ぎの効果を相乗的に高め、世界中の人々の防災意識向上に寄与することを目指し、世界災害語り継ぎネットワークをここに設立する。
2. 我々は過去の災害に関する博物館の展示や、映画、絵本、音楽等の教育的手段を通して「災害語り継ぎ」活動を実践する個人や組織を、メンバーとして歓迎する。また「災害語り継ぎ」の趣旨に賛同する人々もサポーターとして同様に歓迎する。
3. 我々は、メンバー相互の協力の下、関係する情報や知識の収集や普及を行うためのウェブサイトの運営や印刷物の作成、相互の学び合いや議論を行うための定期的な会合の開催、国際社会の関心を喚起するための会議への参加、必要に応じて被災地に所要の助言を行ったりするためのミッションの派遣などの活動を精力的に行う。

2006年1月20日  
神戸(兵庫県)にて

浅野 寿夫 独立行政法人 国際協力機構 日本 / アマッド・マニ・デキシッド 国立地震科学協会 ネパール /  
アレサンドロ・バースト イタリア国立研究評議機関 地質水文学研究所 イタリア / 泉澤 克尚 奥尻島津波館 日本 /  
臼井 真 神戸市立明親小学校 日本 / 大口 弘人 新潟県 日本 / 大野 淳 人と防災未来センター 日本 /  
小林 郁雄 人と防災未来センター 日本 / セナラ・ウィクラムシンハ コロンボ国立博物館 スリランカ /  
ダーミリ シムル島 インドネシア / ドジラニ・ベヌアール バブエゾアー大学土木工学部 アルジェリア /  
ナシ・アイリス アダバザリ市 トルコ / ハサン・アーマン サカルヤ大学 トルコ /  
ハリソン・ゲディキル バブアニューギニア大学 バブアニューギニア / 平澤 雄一郎 人と防災未来センター 日本 /  
広瀬 弘忠 東京女子大学 日本 / ファロク・バルシザデー 国際地震工学・地震学研究所 イラン /  
深澤 良信 国土交通省 日本 / ムハンマド・サイデュール・ラーマン バングラデッシュ災害予防センター バングラデシュ

Longarone, Italy



ヴァイオントダム災害  
(1963)

Armenia



スピタク地震  
(1988)

Niigata, Japan



新潟中越地震  
(2004)

Kobe, Japan



阪神淡路大震災  
(1995)

Bam, Iran



地震前



地震後

バム地震  
(2003)

Boumerdes, Algeria



アルジェリア北部地震  
(2003)

China



中国 唐山地震  
(1976)

Sri Lanka



スマトラ島沖地震  
(2004)

Pakistan



パキスタン地震  
(2005)

Indonesia



スマトラ島沖地震  
(2004)

## 事務局

事務局長：小林 郁雄（人と防災未来センター上級研究員）

人と防災未来センター事業課内

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 防災未来館6階

TEL: 078-262-5067 FAX: 078-262-5082 E-Mail: tellnet@dri.ne.jp

<http://www.dra.ne.jp/tellnet/jp/>